

テレビ広告の進化系「CONNECTED VIEW」本格トライアル開始 ～ターゲットに基づくTVプランニングと課金システムの提供に向けて～

株式会社ビーエスフジ（本社：東京都港区、社長：亀山千広）では、デジタル時代にふさわしい新たなテレビ局の在り方を日々模索しており、2019年6月より当社の企画・立案の下、株式会社電通（本社：東京都港区、社長：五十嵐 博）と「テレビ局視聴データ」を活用した新たな広告サービス「CONNECTED VIEW」の研究を進めて参りました。

昨今、広告主はより精度の高いターゲットヒットが可能なテレビ広告の登場を期待しています。CONNECTED VIEWはテレビ局が独自に取得できる視聴に関するデータ、所謂「テレビ局視聴データ」を活用して、精緻なターゲット設定に基づいた広告出稿プランニング、そして放送時のターゲット含有に基づいた明朗な課金を可能とする新たな考え方の運用型テレビ広告モデルです。

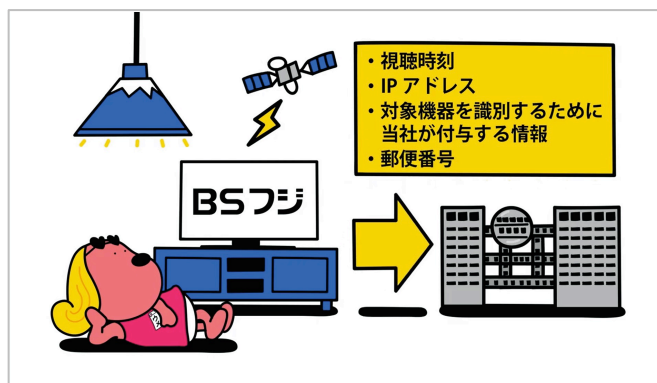
当社では、3月より視聴データの安全な取り扱いを含む運用上の信頼性を確認することを目的として、サービスインに向けた本格トライアルを開始します。



ビーエスフジでは、従来の「性・年代」別の視聴率とは異なる、テレビ局独自の「テレビ局視聴データ」の分析を進めております。「視聴データ」は、データ放送の技術を活用してインターネット結線されたテレビ機器より視聴に関するデータを取得するもので、視聴行動の統計化・分析に有意な数万から数百万単位のデータ取得ができるのが特徴です。ビーエスフジでは、このデータを基に、番組コンテンツ及び視聴者層の「性・年代」だけでなく「趣味嗜好・関心・特性」といった情報の可視化に取り組んで参りました。CONNECTED VIEWはその取り組みを広告サービスとして発展的に活用するものです。

当社では「視聴データ」を安全に取り扱い、信頼いただけるデータにするために、①法令やガイドラインの遵守、②ホームページ、データ放送及びPRスポットを通じた当社の取り組みを視聴者にご理解いただくための積極的な周知活動、③データの精度を高めるためのデータクレンジング、④情報管理の徹底を図っています。

BSフジ「視聴データ」周知広報PR動画より



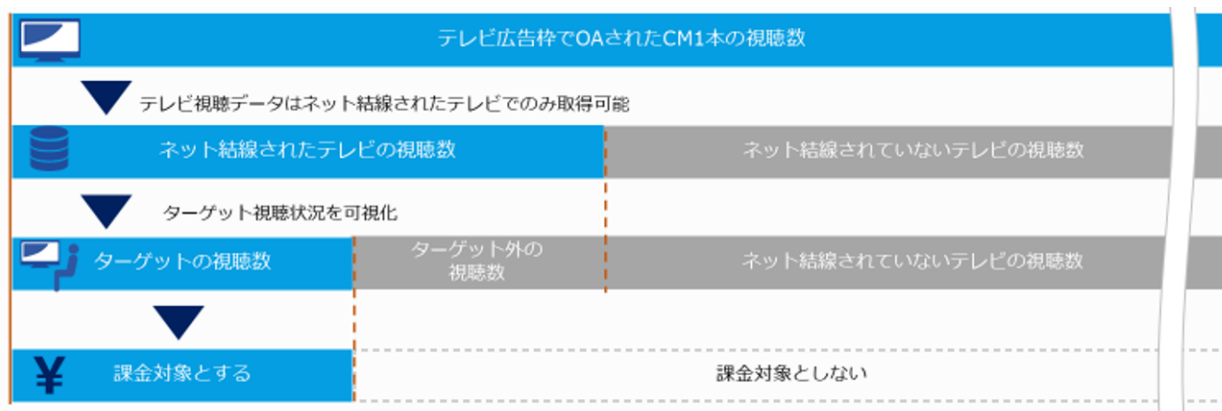
【図1】取得データの種類



【図2】オプトアウトの方法

【図3】CONNECTED VIEWの仕組みと課金の算出式の考え方

<仕組み>



<算出式の考え方>

$$\text{CM放送時テレビ視聴データ (VIEW)} \times \text{ターゲット視聴割合 (\%)} \times \text{VIEW単価 (円)}$$

- VIEW : テレビ視聴データ数 (機器数)
- ターゲット視聴割合 : 視聴データの分析によって可視化したターゲットの割合
- VIEW単価 : 1 VIEWにかかるコスト (都度見積もり)

ビーエスフジでは、今後も広告主と消費者の幸せな出会いが創出できるよう、サービスの開発に努めてまいります。

*ビーエスフジにおけるテレビ視聴データの取り扱いポリシーについて

<https://www.bsfuji.tv/top/info/research.html>